

3万円、日吉地区生徒に4万5千円を補助している。

問 鬼北町在住で、他の地区の高等学校に通学している生徒の人数は把握しているか。

答 町外の高等学校等に通学する生徒の人数は、各年度の卒業時の中学校からの進学先の報告をもとに算出すると、宇和島東高等学校が83人、宇和島南中等教育学校が36人、宇和島水産高等学校が1人、北宇和高等学校三間分校が10人、吉田高等学校3人のほか、県内の県立高校、私立高校に15人、県外の県立高校、私立高校に3人、通信制高校に2人、合計153人の生徒が町外の高等学校に通学している。なお、通学後の転校や退学は、高等学校から報告がないので、把握していない。

問 鬼北町在住の北宇和高校生徒に新たな補助金や支援を行う考えはないか。

答 北宇和高等学校に通う生徒だけに對し、新たな補助金等を設けて支援を行うことは、現在のところ考えていない。

◆中山 定 則 議員

問 高齢者の在宅生活を支える生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加について

問 高齢者の在宅生活を支えるための見守り、外出支援、買い物、調理、清掃などの家事支援等の生活支援サービスは、ニーズに応えられているか。

答 見守りについては、「鬼北町高齢者等見守りネットワークに関する協定書」を町内5事業所と締結し、それぞれの立場から連携・提供して、見守り支援活動を実施している。また、要介護の認定を受けた場合は、介護保険制度の中で、買い物、調理、清掃などの家事支援等の生活支援サービスが受けられる。自宅での生活に必要な支援を

行うため、ケアプランを作成し、要介護者に適したサービスを提供しているところであるが、ケアプラン作成時には、介護保険制度以外の生活支援サービスの紹介も行い、必要なサービスを利用していただくことになっているので、個々のニーズにお応え出来ていると認識している。また、今年度からは、一部の地域で食品等の商品を提供する「高齢者の在宅買い物支援制度」を実施するとともに、家庭ごみを集積場所へ持ち出しすることが困難な高齢者などの世帯を対象に玄関先でごみ回収を行う「家庭ごみ戸別回収」等新たな事業を実施している。

問 元気な高齢者が生活支援の担い手として社会参加し、生きがいや介護予防につながる仕組みづくりをしていく考えはないか。

答 高齢者が長年培った経験や知識を活かしながら、地域社会の中で働くことを通じて、生きがいの充実および福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として、令和2年度に鬼北町シルバー人材センターを設立した。シルバー人材センターは、質問にある仕組みづくりの趣旨に沿ったものと理解している。現在のところ、新たな仕組みづくりを行うことは考えていないが、今後の状況によって、必要性が生じた場合は、新たな取り組みを検討したいと考えている。

問 高齢者への趣味、健康づくり活動、ボランティア活動等の案内および相談窓口の設置は出来ているか。

答 回覧、ホームページにより、参加者を募集し、公民館、集会所等で、いきいき体操教室等の一般介護予防事業を展開している。相談窓口は、それぞれサービスのより保健介護課、町内関

係事業所等に分かれているため、サービスの紹介をとりまとめた冊子「介護に役立つ情報マップ」を作成し、広見保健センターをはじめ、公民館、社会福祉協議会の窓口にとともに、民生児童委員等に配布し、それぞれが相談窓口になって、関係機関と連携しながら、町民の皆さんの相談に対応しているところである。

〔町道について〕

問 毎年度地元から出る町道の補修要望に応えられているか。

答 建設課で対応できるものについては、年度内、または、遅くとも次年度には対応している。

問 公共施設等総合管理計画に、今後予定の町道の改良工事計画が記載されている。その他の改良を必要とする路線は、計画準備段階で地元の意見、要望を聞くなどして計画化していく考えはないか。

答 公共施設等総合管理計画に掲載している町道整備予定計画は、中期行財政計画を基に記載している。中期行財政計画に掲載している事業は、各地区の代表者から提出のあった町道改良整備に関する要望書を基に、毎年度見直しを行い、計画書を作成しており、随時、公共施設等総合管理計画に掲載がないものも計画化している。

問 町道の定期点検結果を道路台帳等に記録して活用する考えはないか。

答 点検結果の記録は、これまでどおり作業日誌による管理が管理しやすいため、道路台帳への記録については、現在のところ考えていない。

〔保育所再編計画について〕

問 これからの新設園の開所までのスケジュールについて。

答 今後のスケジュールは、設計業務完了後、令和4年度に着工し、令和5

年3月の完成を目指し、新設園の開所に向けて準備を進めたいと考えているが、入札時点での木材等の価格高騰と併せ、材の調達に時間を要したり、半導体不足による設備機器類の納入遅延により、納期が間に合わないなどの理由で入札が不調に終わるなどの事態が続くと、予定通りとならない可能性がある。さらに懸念される事項として、近永アルコール工場跡地に接続する水路の奈良川への排水が、公団、現況とも不明となっている箇所があり、本設計業務内で排水の調査、測量、設計を追加で依頼する必要がある。また、近永アルコール工場跡地のうち、統合保育所敷地外の排水計画も含めた水量を問題なく排水する設計が必要となったことから、設計期間の延長も検討している。また、土壌汚染対策法に基づき届出が必要であるが、本計画地が工場跡地であるので、汚染のおそれについて、消防署、労働基準監督署等関係機関への意見照会を経た後、宇和島保健所の判断に時間を要する恐れがあり、届出を行った後、土地の地歴調査や敷地内土壌調査を求められ、事業着手までに想定以上の時間を要する事態が起ることも考えられる。

問 さくら保育所と小松保育所の改修は、計画通り進めていく考えであるか。

答 さくら・小松両保育所の改修工事に係る設計委託料を令和4年度当初予算に計上している。予算を可決していただいたら、両保育所の改修設計業務を委託し、設計完了後の令和5年度以降に、順次、工事を着工する予定である。

問 昨年末に開催された保育所統廃合に係る地区別説明会で説明された通園費補助制度などの補助制度と認定子ども園の設定などの新たな保育サービス